

平成22年度日本留学試験（第1回）

実施結果の概要

目 次

平成22年度（2010年度）日本留学試験実施要項……………	1
実施状況……………	3
科目別平均点等一覧……………	6
得点分布図……………	7
得点累積分布図……………	10

独立行政法人 日本学生支援機構

平成 22 年度（2010 年度）日本留学試験実施要項

1. 目 的

外国人留学生として、我が国の大学（学部）等に入学を希望する者について、日本語力及び基礎学力の評価を行う。

2. 実施者

独立行政法人日本学生支援機構が、文部科学省、外務省、大学及び国内外の関係機関の協力を得て実施する。

3. 試験の方法、内容等

- (1) 対 象 : 外国人留学生として、我が国の大学等に入学を希望する者
- (2) 試 験 日 : 第 1 回 平成 22 年（2010 年）6 月 20 日（日）
第 2 回 平成 22 年（2010 年）11 月 14 日（日）
- (3) 実 施 地 : 国 内 北海道、宮城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、石川県又は福井県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、岡山県又は広島県、福岡県及び沖縄県
国 外 インド（ニューデリー）、インドネシア（ジャカルタ及びスラバヤ）、韓国（ソウル及びプサン）、シンガポール、スリランカ（コロンボ）、タイ（バンコク）、台湾（台北）、フィリピン（マニラ）、ベトナム（ハノイ及びホーチミン）、マレーシア（クアラルンプール）、ミャンマー（ヤンゴン）、モンゴル（ウランバートル）及びロシア（ウラジオストク）

(4) 出題科目等

受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、以下の科目の中から選択して受験する。

科 目	目 的	時 間	得点範囲
日 本 語	日本の大学等での勉学に対応できる日本語力（アカデミック・ジャパンニーズ）を測定する。	125 分	読解 聴解・聴読解 0～400 点
			記述 0～50 点
理 科	日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科（物理・化学・生物）の基礎的な学力を測定する。	80 分	0～200 点
総合科目	日本の大学等での勉学に必要な文系の基礎的な学力、特に思考力、論理的能力を測定する。	80 分	0～200 点
数 学	日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を測定する。	80 分	0～200 点

[備 考]

- ① 日本語の科目は、記述、読解、聴解・聴読解の 3 領域から構成される。
- ② 理科について、受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、物理・化学・生物から 2 科目を選択する。
- ③ 数学について、受験者は、受験希望の大学等の指定に基づき、文系学部及び数学を必要とする程度が比較的少ない理系学部用のコース 1、数学を高度に必要とする学部用のコース 2 のどちらかを選択する。
- ④ 理科と総合科目を同時に選択することはできない。
- ⑤ 上記の得点範囲は、日本語の科目の記述を除き、素点ではなく、共通の尺度上に表示する。また、記述については基準に基づき採点する。
- ⑥ 出題範囲は、各科目のシラバスを参照のこと。
- (5) 出題言語 : 日本語及び英語により出題するので、受験者は、受験希望の大学等の指定を踏まえて、出願の際にどちらかを申告する（日本語の科目は日本語による出題のみ）。
- (6) 解答方式 : 多肢選択方式（マークシート）（日本語の科目は記述式を含む。）

4. 出願の手続き等

(1) 出願手続き

① 願 書 : 所定のもの

② 受験料 :	国内 (1科目のみの受験者)	5,460	円 (税込み)
	(2科目以上の受験者)	10,920	円 (税込み)
	国外 インド	500	ルピー
	インドネシア	40,000	ルピア
	韓国 (1科目のみの受験者)	30,000	ウォン
	(2科目以上の受験者)	50,000	ウォン
	シンガポール	36	シンガポールドル
	スリランカ	700	スリランカルピー
	タイ	300	バーツ
	台湾 (1科目のみの受験者)	1,200	台湾ドル
	(2科目以上の受験者)	1,600	台湾ドル
	フィリピン	250	ペソ
	ベトナム	70,000	ドン
	マレーシア	60	リンギット
	ミャンマー	15	FEC
	モンゴル	10,000	トゥグルグ
	ロシア	300	ルーブル

③ 受付期間 : 国内 (第1回) 平成22年(2010年)2月15日(月)から3月12日(金)まで
(3月12日消印有効)
(第2回) 平成22年(2010年)7月5日(月)から7月30日(金)まで
(7月30日消印有効)

国外 国内と同じ。

④ 出 願 : 国内 独立行政法人日本学生支援機構留学生事業部留学試験課に提出する。
国外 各国・地域の現地機関に提出する。

(2) 受験案内

出願手続き等の細目については、「平成22年度(2010年)日本留学試験受験案内」により公表する。

販売の方法 : 国内 平成22年(2010年)2月15日(月)から1部510円(消費税含む。)で全国の
主要書店において販売予定

国外 各国・地域の現地機関と調整のうえ、決定する。

(3) 受験票の送付

国内 : 願書を受理したものについて、次に掲げる期日(予定)に発送する。

第1回 平成22年(2010年)5月21日(金)

第2回 平成22年(2010年)10月22日(金)

国外 : 各国・地域の現地機関と調整のうえ、決定する。

5. 結果の通知等

(1) 受験者への通知

次に掲げる期日(予定)に、試験の成績を通知する。

第1回 平成22年(2010年)7月23日(金)

第2回 平成22年(2010年)12月21日(火)

(2) 大学等への通知

第1回については7月下旬から、第2回については12月下旬から、大学等からの成績照会への対応を開始する。

照会先 : 独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課 〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 電話: 03-6407-7457 FAX: 03-6407-7462 E-Mail: eju@jasso.go.jp

平成22年度日本留学試験（第1回）実施状況

1. 実施地別応募者数及び受験者数

実施地		応募者数 (人)	受験者数 (人)	
国内	北海道	174	160	
	東北	宮城	328	316
	関東	群馬	102	97
		埼玉	565	521
		千葉	836	792
		東京	8,454	7,813
		神奈川	1,218	1,157
	中部	福井	156	147
		静岡	415	406
		愛知	887	857
	近畿	京都	600	580
		大阪	1,725	1,641
		兵庫	1,257	1,197
	中国	岡山	860	825
	九州	福岡	2,662	2,584
沖縄		130	127	
国内小計		20,369	19,220	
国外	インド	ニューデリー	65	32
	インドネシア	ジャカルタ	524	326
		スラバヤ	130	96
	韓国	ソウル	1,995	1,722
		プサン	563	504
	シンガポール		19	15
	スリランカ	コロンボ	35	30
	タイ	バンコク	95	59
	台湾	台北	999	805
	フィリピン	マニラ	13	8
	ベトナム	ハノイ	107	63
		ホーチミン	153	126
	マレーシア	クアラルンプール	187	181
	ミャンマー	ヤンゴン	49	42
	モンゴル	ウランハートル	87	63
ロシア	ウラジオストク	4	2	
国外小計		5,025	4,074	
合計		25,394	23,294	

備考：基礎学力科目の出題言語に英語を選択した者は、次のとおりであった。

	応募者数	受験者数
国内	205	181
国外	1,036	677
合計	1,241	858

2. 実施会場

国内	北海道	札幌大学
	宮城県	宮城学院女子大学
	群馬県	前橋工科大学
	埼玉県	城西大学
		駿河台大学 飯能キャンパス
	千葉県	敬愛大学 稲毛キャンパス
	東京都	国士舘大学 世田谷キャンパス
		東京理科大学 神楽坂校舎
		日本大学 法学部三崎町校舎
		法政大学 市ヶ谷キャンパス
		東京農工大学 小金井キャンパス
		桜美林大学 町田キャンパス
	神奈川県	鶴見大学 鶴見キャンパス
		横浜商科大学 つるみキャンパス
	福井県	仁愛大学
	静岡県	日本大学 国際関係学部三島校舎
	愛知県	名古屋産業大学
	京都府	京都工芸繊維大学 松ヶ崎キャンパス
		京都経済短期大学
	大阪府	大阪大学 豊中キャンパス
	兵庫県	神戸学院大学 有瀬キャンパス
	岡山県	岡山県立大学
		美作大学
福岡県	九州産業大学	
沖縄県	沖縄国際大学	
国外	インド (ニューデリー)	インド文部省留学生協会 (MOSAI) 日本語学院
	インドネシア (ジャカルタ)	インドネシア大学 (DEPOK キャンパス)
		(スラバヤ)
	韓国 (ソウル)	汝矣島中学校・汝矣島女子高等学校
		(プサン)
	シンガポール	シンガポール日本文化協会
	スリランカ (コロンボ)	スリランカ日本文化センター (ササカワホール)
	タイ (バンコク)	タイ国元日本留学生協会 (OJSAT)
	台湾 (台北)	語言訓練測驗中心
	フィリピン (マニラ)	デ・ラサール大学セント・ベニール校
	ベトナム (ハノイ)	ハノイ貿易大学 (ベトナム日本人材協力センター)
		(ホーチミン)
	マレーシア (クアラルンプール)	KDU カレッジ
	ミャンマー (ヤンゴン)	チャトリウム・ホテル・ヤンゴン
	モンゴル (ウランハートル)	モンゴル・日本センター
	ロシア (ウラジ`オストク)	極東国立総合大学附属東洋学大学

3. 国・地域別受験者数内訳（国内実施分）

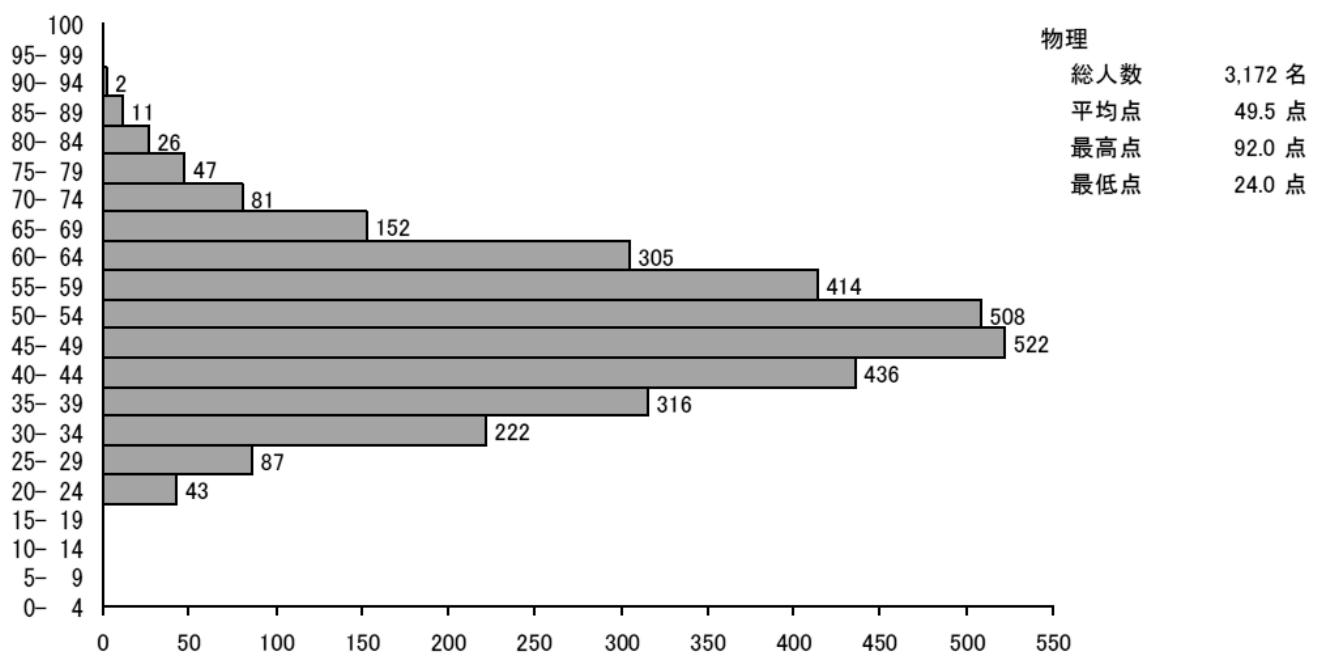
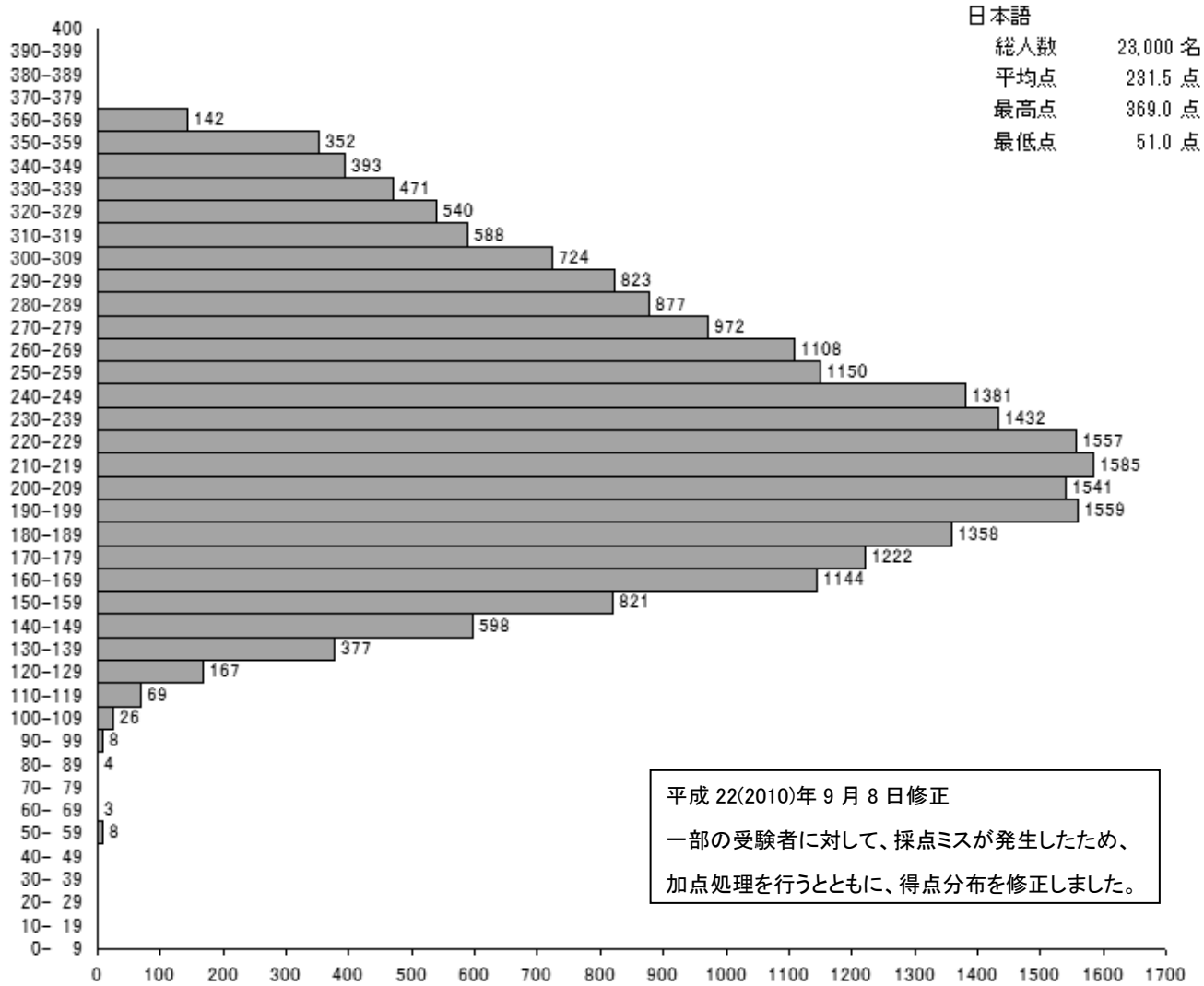
国・地域	受験者数(人)	国・地域	受験者数(人)
中国	16,204	ベナン	3
韓国	1,288	コロンビア	3
ベトナム	445	ポルトガル	3
ネパール	269	東ティモール	3
台湾	232	ハンガリー	2
ミャンマー	186	ベルギー	2
タイ	84	オランダ	2
モンゴル	67	スペイン	2
インドネシア	67	パキスタン	2
マレーシア	57	オマーン	1
サウジアラビア	56	ウクライナ	1
スリランカ	39	デンマーク	1
インド	22	オーストラリア	1
アメリカ	17	エジプト	1
バングラデシュ	15	カメルーン	1
フィリピン	15	ルーマニア	1
アラブ首長国連邦	13	セネガル	1
ロシア	10	アンゴラ	1
カンボジア	10	ウガンダ	1
スウェーデン	7	アイルランド	1
イラン	7	チリ	1
トルコ	7	ベラルーシ	1
カナダ	6	ウズベキスタン	1
フランス	5	アフガニスタン	1
ペルー	5	オーストリア	1
イギリス	4	キルギス	1
ブラジル	4	カザフスタン	1
シンガポール	4	アルバニア	1
ケニア	4	アルジェリア	1
イタリア	3	パナマ	1
ドイツ	3	その他	16
ラオス	3		
ガーナ	3	合計(63の国・地域)	19,220

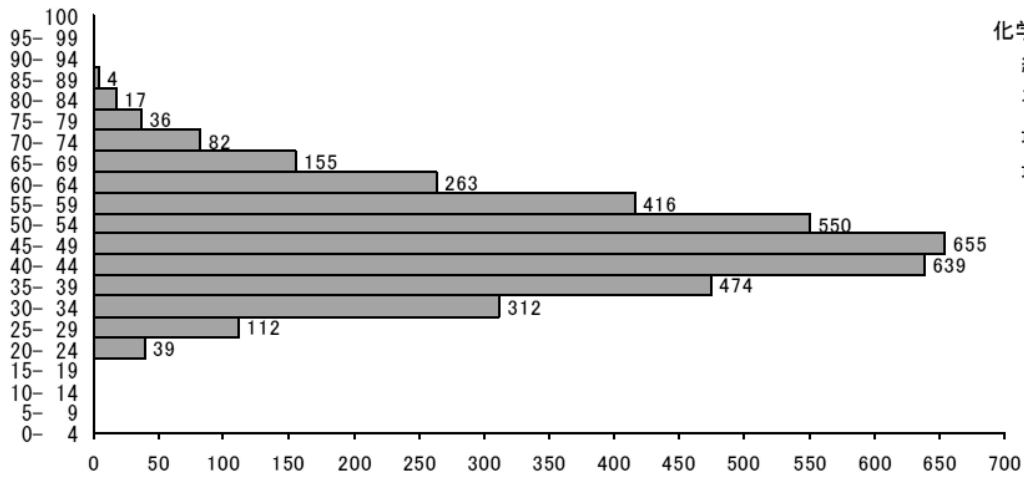
平成22年度日本留学試験（第1回）科目別平均点等一覧

科目等 (得点範囲)		受験者数(人)	平均点(点)	最高点(点)	最低点(点)	標準偏差
日本語	聴解・ 聴読解 (0~200)	23,000	101.5 (50.8%)	173 (86.5%)	26 (13.0%)	27.8 (13.9%)
	読解 (0~200)		130.1 (65.1%)	196 (98.0%)	25 (12.5%)	32.8 (16.4%)
	合計 (0~400)		231.5 (57.9%)	369 (92.3%)	51 (12.8%)	56.2 (14.1%)
	記述 (0~50)		29.2 (58.4%)	50 (100.0%)	0 (0.0%)	9.0 (18.0%)
理科	物理 (0~100)	3,172	49.5 (49.5%)	92 (92.0%)	24 (24.0%)	11.9 (11.9%)
	化学 (0~100)	3,754	47.6 (47.6%)	89 (89.0%)	20 (20.0%)	11.4 (11.4%)
	生物 (0~100)	1,553	54.3 (54.3%)	91 (91.0%)	17 (17.0%)	13.7 (13.7%)
総合科目 (0~200)		11,060	122.5 (61.3%)	198 (99.0%)	10 (5.0%)	33.0 (16.5%)
数学	コース1 (0~200)	10,012	106.1 (53.1%)	186 (93.0%)	30 (15.0%)	30.1 (15.1%)
	コース2 (0~200)	3,377	115.2 (57.6%)	181 (90.5%)	35 (17.5%)	21.7 (10.9%)

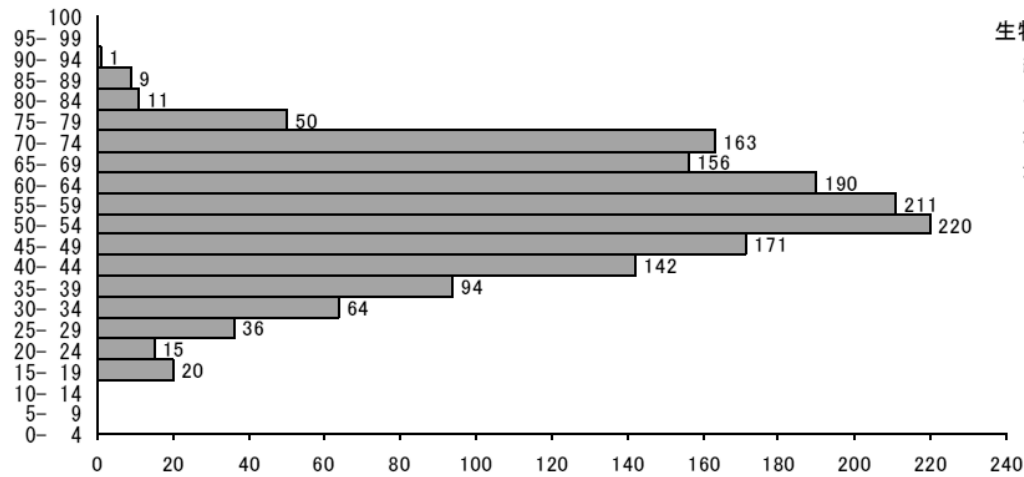
備考：「平均点」、「最高点」、「最低点」及び「標準偏差」欄の下段の（ ）内の数字は、「得点範囲」の上限に対する割合を表す。

平成22年度 日本留学試験（第1回）得点分布図

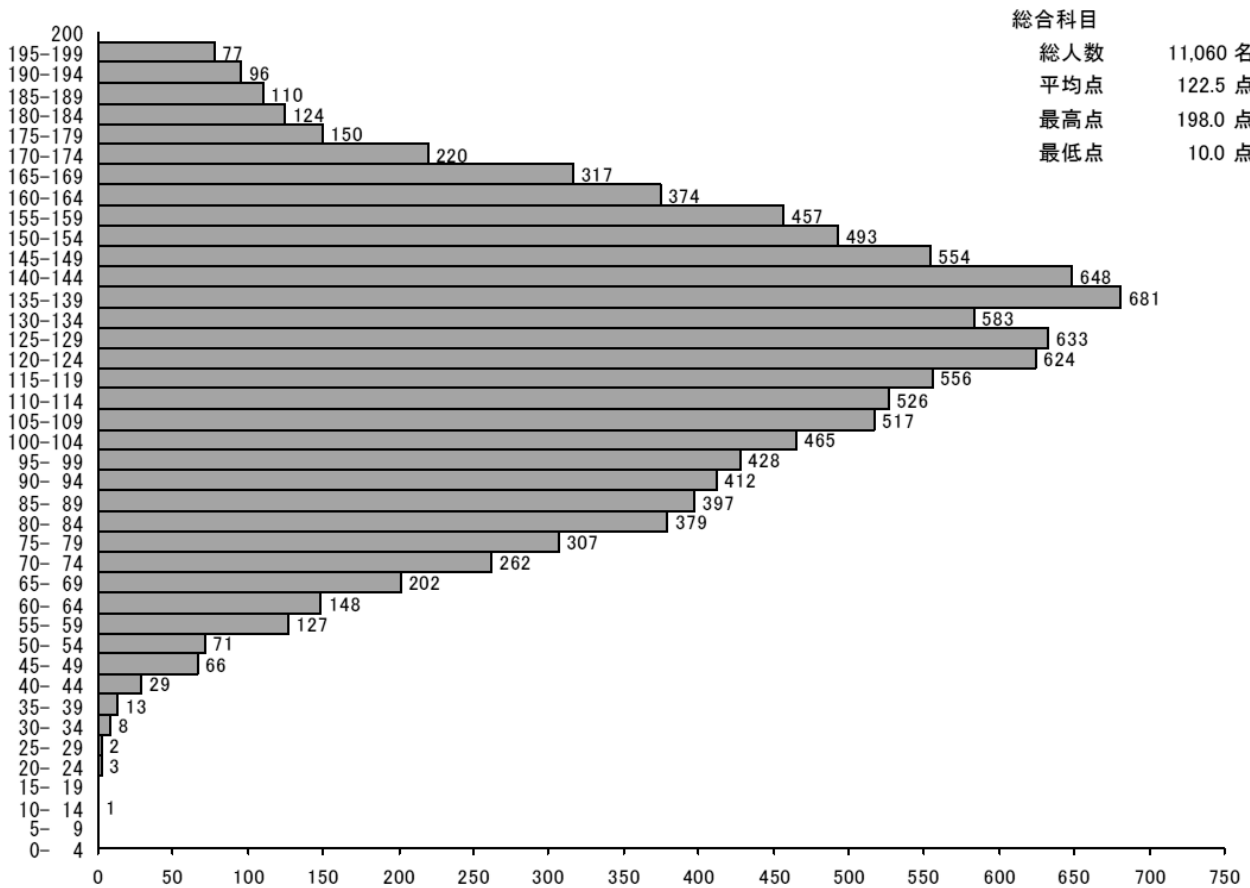




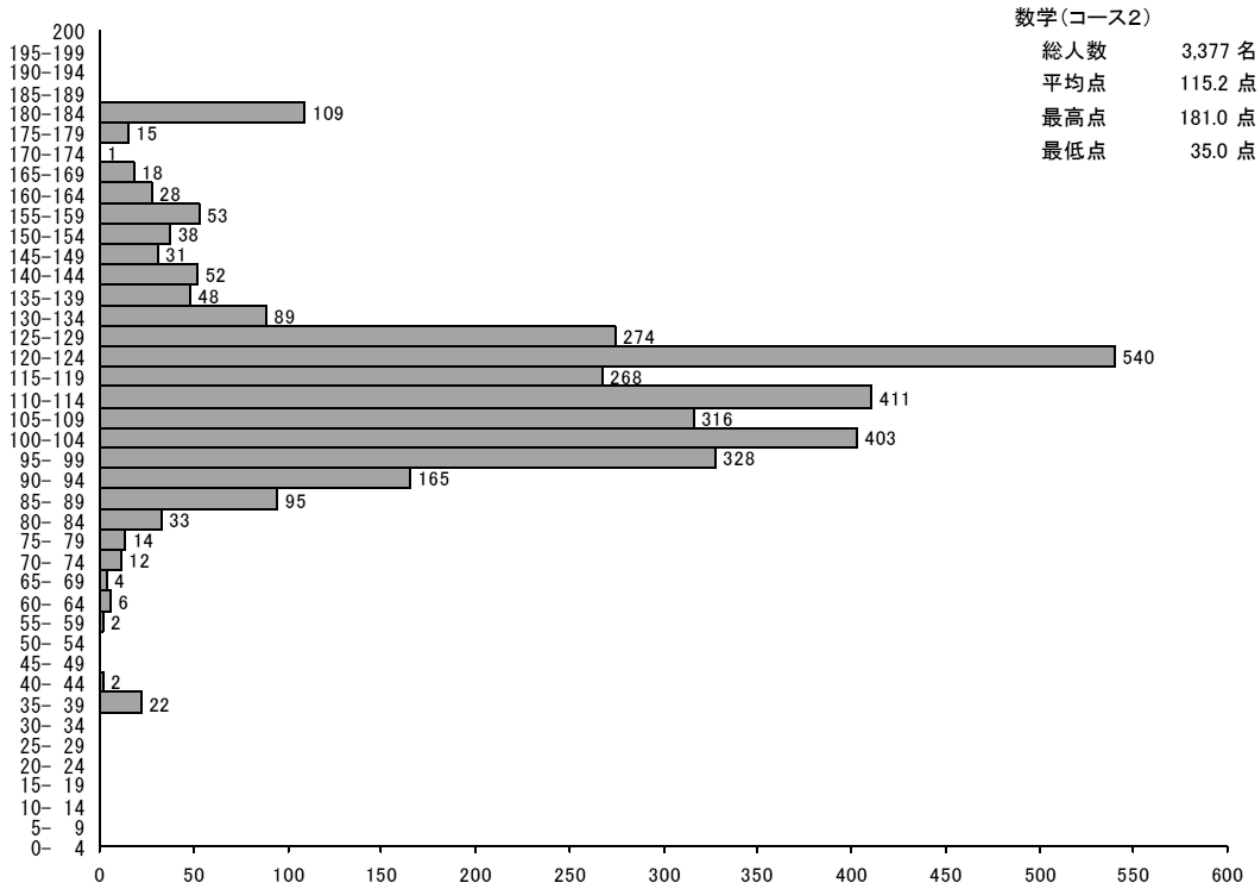
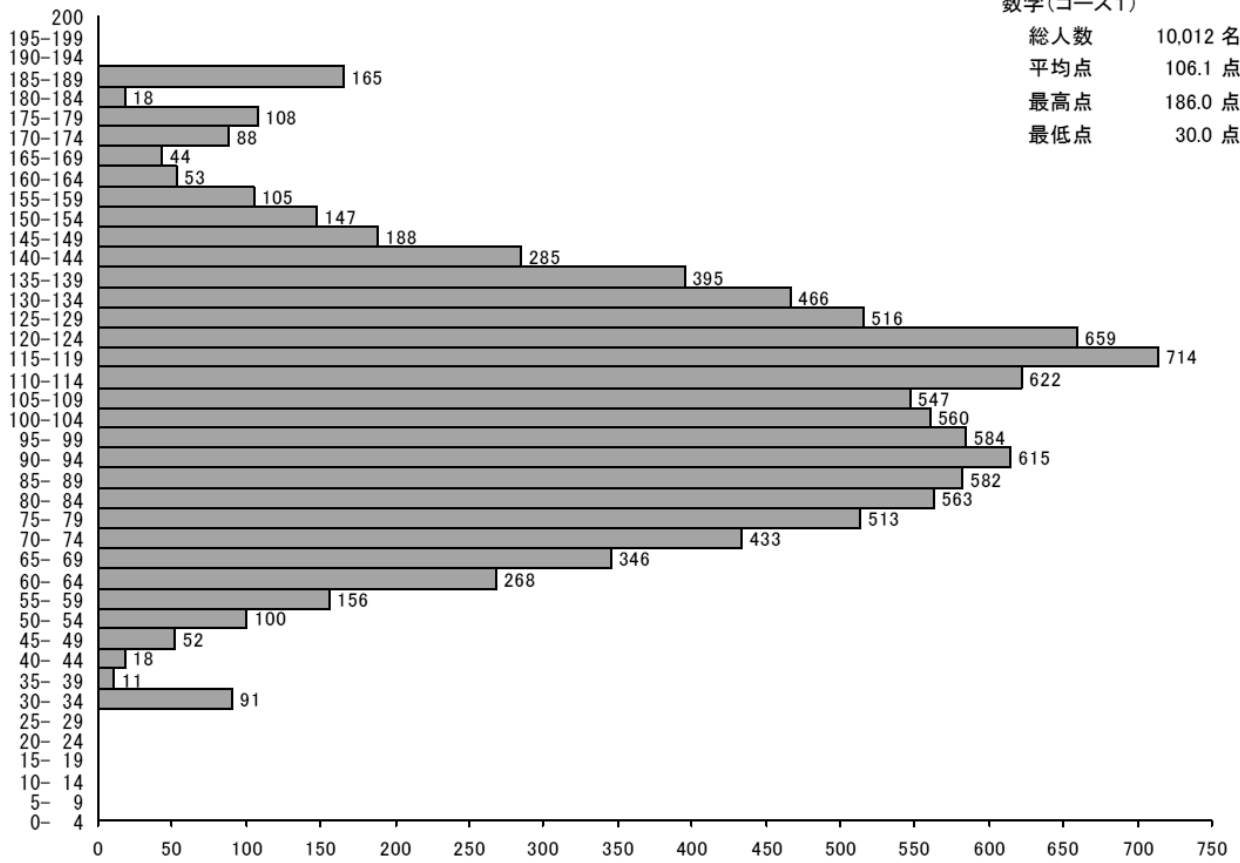
化学
 総人数 3,754 名
 平均点 47.6 点
 最高点 89.0 点
 最低点 20.0 点



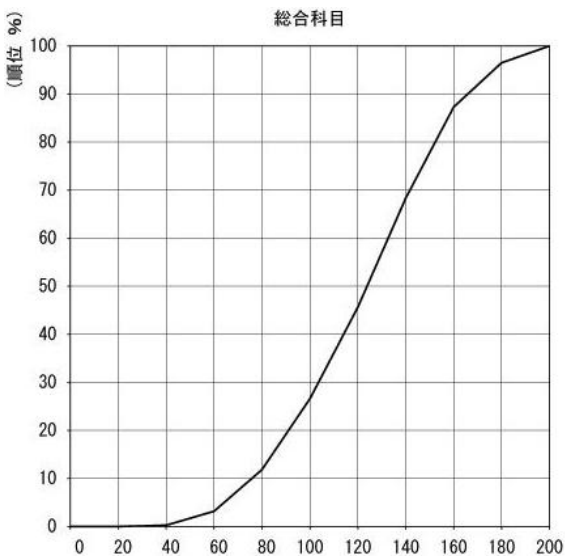
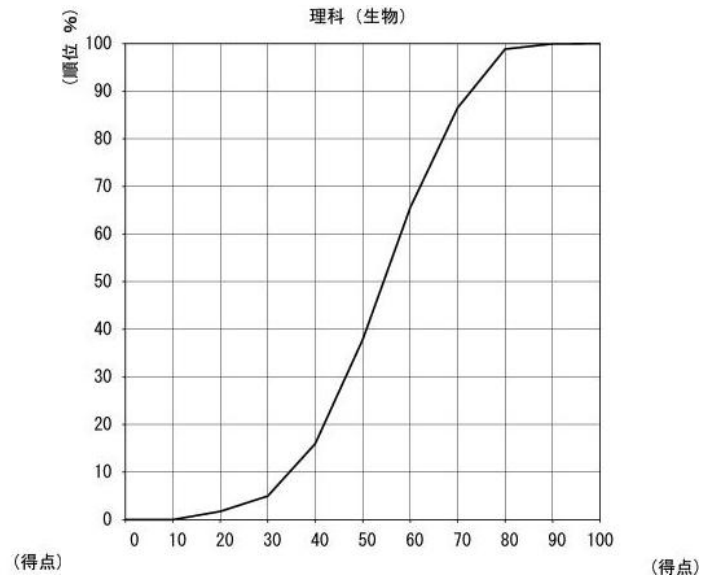
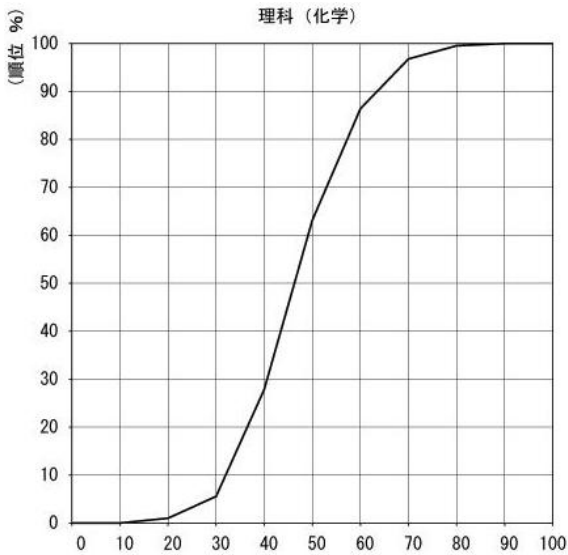
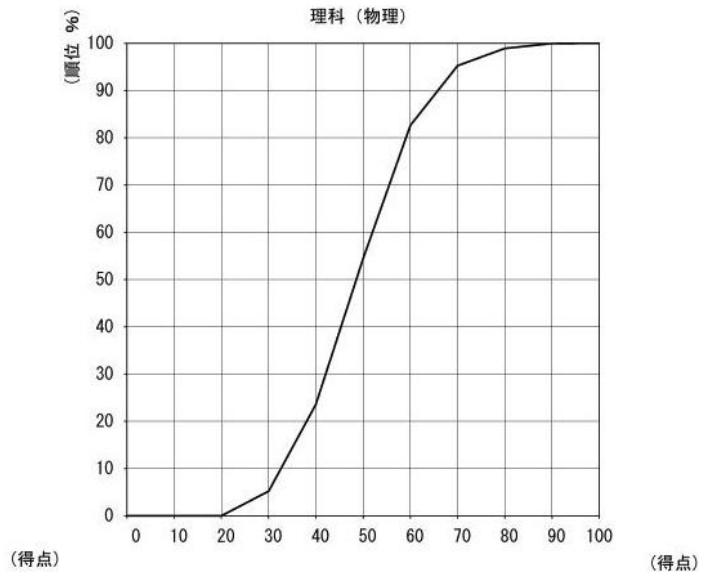
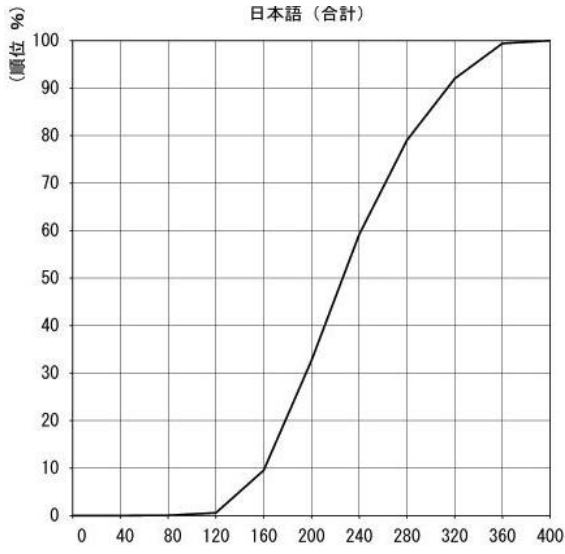
生物
 総人数 1,553 名
 平均点 54.3 点
 最高点 91.0 点
 最低点 17.0 点



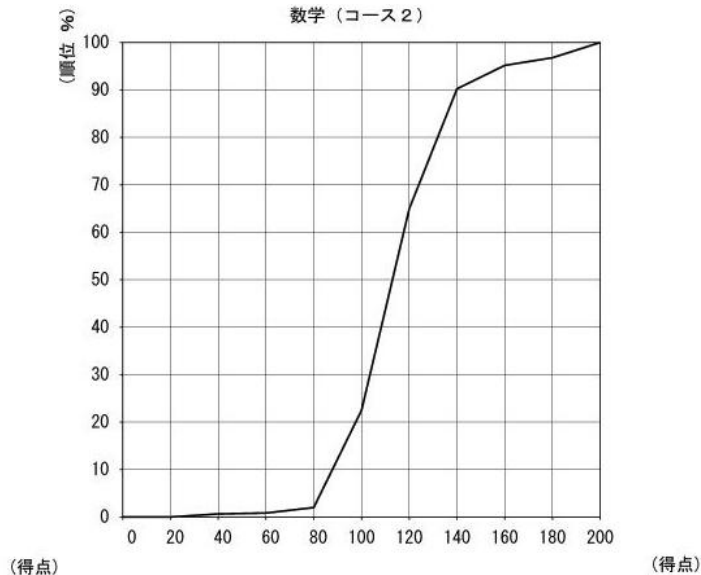
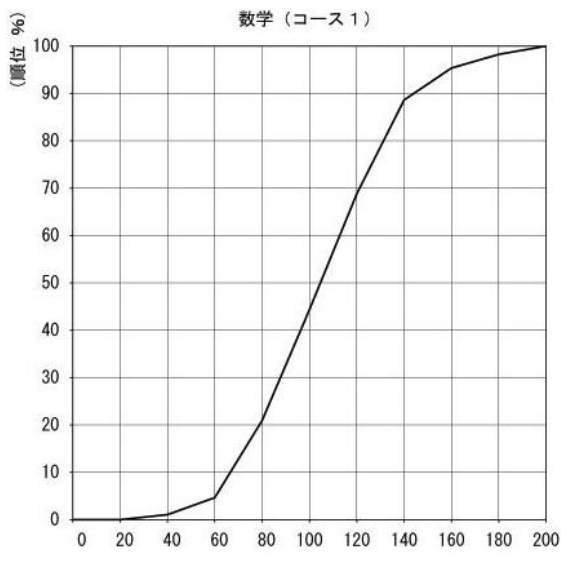
総合科目
 総人数 11,060 名
 平均点 122.5 点
 最高点 198.0 点
 最低点 10.0 点



平成22年度 日本留学試験（第1回）得点累積分布図



(得点)



ここに掲載した図は、受験者のとった得点が、全体の順位でどの位置に当たるかを示す、パーセンタイル順位のグラフです。

日本語の試験で2領域合計240点をとった人を例にとると、横軸の「240」の位置に対応する縦軸（順位）が「70%」の位置に当たります。したがって、この受験者のパーセンタイル順位は「70パーセンタイル」に当たることがわかります。言い換えれば、この受験者以下の順位に位置する受験者の数が、全受験者数の70%を占める、ということです。

パーセンタイル順位によって、受験者が当該試験を受験した集団において全体のどの位置にいるか、相対的な比較が可能となります。

